

# 戸田ミニ(男子)悲願の初V

## 埼玉県スポ少 ミニバス大会 女子は新郷レッズ

【7月4日、日高市】平成16年度埼玉県少年団ミニバスケットボール大会の準決勝、決勝が日高アリーナで行われ、男子は戸田ミニバスが初優勝、女子は新郷レッズが3年ぶり2度目の優勝をかさつた。男女の名優勝チームは、千葉県で開催される関東大会へ出場する。



男子決勝(7月4日) 戸田ミニ(24-18)川越フリス 8-18 レッズ

**D Fに集中力発揮**  
男子は戸田がうれしい県大会初優勝をかさつた。決勝の川越フリス戦では、栗谷なで(26)と守り野、小柄ながら、スピードのある積極的なプレーでポイントにこらいついた。南部

地区予選決勝では、この大会3位の志木宗岡に逆転負けを喫した戸田だが、「この県大会では、みんなの気持ちで頑張った。全員が集中してプレーしていた」と西村監督(戸田)は、昨年の大会では、準決勝でさいたま市に28-27の1点差で敗れ、今年1月の全国大会男子選では準優勝、毎回あと一歩のところを優勝を逃してきただけに、悲願の県大会優勝に喜びもひとしおだ。

初優勝した戸田ミニバスの西村隆信監督の話「守りに徹したプレーで臨んだ。高さのあるチームと対戦しても子どもたちの集中力は最後まで途切れなかった。いつもあと一歩で優勝を逃してきたので、今日の優勝は本当にうれしい」

宇田川義輔主将の話「みんなでしっかり声を出し、特にDFはがんばった。練習してきた1対1の成果も出せた。これからは、もっとインサイドを強化して、



戸田ミニバスの小原展哉がシュートを放つ

シールド力もつけて関東大会で優勝したい」

▽女子決勝(7月4日) 新郷39(23-10)幸松レッズ 16-12 ミニ

**レッズが自由投でリズムにのる**  
女子決勝は新郷レッズと幸松ミニが対戦。第2Q、フアウルが重なり苦しい展開の幸松に対し、新郷レッズは広瀬、吉沢が計12本のフリースローを全て決め、試合の主権を握った。新郷レッズは幸松のキーププレーヤー金子を慎重にマークし、後半詰める幸松の追い上げを39-22で振り切って、3年ぶり2度目の優勝をかさつた。

優勝した新郷レッズの西野孝雄監督の話「前半、フリースローをしっかり決めて波に乗れた。全員がよく走った。幸松にはとてもいい選手がいるので、中に運ばれないようボールマンに対するプレスを徹底した。関東大会は強豪ぞろいなので、まずは1勝を目標にがんばりたい」



男子優勝の戸田ミニバス

小原展樹主将の話「いつも以上にフリースローが決まり、みんなが自分の役割を果たして積極的にプレーできた。関東大会ではシュート力のあるチームにも負けないようがんばりたい」

▽準決勝 川越 44-34 志木宗岡 フリス 27-21 与野南

▽3位決定戦 志木宗岡 48-41 与野南

▽女子準決勝の順位

▽Aフロッタリ①川越フリス②八幡フリス③田島ミニバス

▽Bフロッタリ①志木宗岡②高野フリス③青野ウイングス

▽Cフロッタリ①与野南女子ミニバス②本庄藤田③果トクフリス

▽Dフロッタリ①戸田ミニバス②武里ケイシャーズ③武蔵野ミニバス

▽女子決勝トーナメント

▽準決勝 新郷 44-38 西武エアーズ

## 草加ジエクラブサッカー

【7月4日、鴻巣市】第2回クラブユースサッカー



連続8本のフリースローを決めた新郷レッズの広瀬智美

# 男子部の 戸田に栄冠

## 女子 川口新郷レッズ制す

県入水少ミニバス大会 第33回県スポーツ少年団ミニバスケット大会は、4日、日高市文化総合体育館などで男女各部の決勝リーグ、決勝トーナメントが行われ、熱戦の結果、男子の部は戸田が川越フレックスを第2クォーターで引き離したリードを守りきり、32-28で下し優勝。女子の部は新郷レッズが幸松を30-17で下し、それぞれ栄冠に輝いた。

優勝した女子チームは、23日から千葉県成田市中台体育館で行われる関東大会に出場する。

【男子】  
マウロック 80-38 青野ウイ  
八潮ハート 64-24 さいたま市  
川越フレックス 71-29 さいたま市  
新郷レッズ 43-37 八潮ハート

【女子】  
幸松 75-18 川越フレックス  
新郷レッズ 49-48 青野ウイ  
①幸松 ②川越フレックス  
③新郷レッズ ④青野ウイ  
マウロック 81-41 本庄 藤田  
さいたま市 70-43 新郷レッズ  
野瀬女子 59-38 青野ウイ  
①さいたま市 ②新郷レッズ  
③青野ウイ ④マウロック

【男子】  
青野ウイ 38-27 ケンジャイ  
青野ウイ 41-21 川越フレックス  
戸田 35-14 川越フレックス  
①戸田 ②青野ウイ ③ケンジャイ  
④川越フレックス  
【女子】  
さいたま市 44-34 幸松 富岡  
戸田 27-21 野瀬女子  
マ3位決定戦  
幸松 48-41 野瀬女子  
マ決勝  
戸田 32-28 新郷レッズ

【決勝トーナメント】  
マウロック 40-32 児 玉  
川口新郷レッズ 60-29 リーパース  
①川口新郷レッズ ②児玉  
③日高武蔵野 ④日高  
新郷レッズ

【決勝トーナメント】  
マ3位決定戦  
マ決勝  
川口新郷レッズ 44-38 入間武工エ  
青野ウイ 33-28 青野ウイ  
青野ウイ 42-21 青野ウイ  
さいたま市 52-31 青野ウイ  
①青野ウイ ②さいたま市  
③青野ウイ ④山口リライズ

【決勝トーナメント】  
マ3位決定戦  
マ決勝  
川口新郷レッズ 39-22 青野ウイ  
青野ウイ 44-38 入間武工エ  
青野ウイ 33-28 青野ウイ  
青野ウイ 42-21 青野ウイ  
さいたま市 52-31 青野ウイ  
①青野ウイ ②さいたま市  
③青野ウイ ④山口リライズ



「高さがあるチームではない。(新郷レッズ・西野監督)。「スーパースターがいるわけではない」(戸田・西村監督)。両方は選手が、同優勝監督のひびきにチームプレーの大切さがにじみ出た。

決勝トーナメントでは、男女どのチームを見てもはば実力差がなかった。相手

### チームプレーの大切さにじむ

コートでの積極的なプレー、ダブルチームなど、集中力、運動量の面での微妙な差が勝敗の明暗を分けた。

新郷レッズ、戸田は「例え1対1で負けてもチームでフォローする」というチームを裏切らなければならないことを実践し、ピッシングセンター、強力フォワードを擁するチ



西村監督

選手が頑張った。戸田・西村監督は選手の話を通じて、一歩先の勝利も多く苦しかったが、決勝戦は練習通りに選手たちが動き、作戦通りにできた。全員で守り、全員で攻めるチーム。昨年、今大会を経験



宇田川主将

した選手がいなくて、よく頑張ってくれた。

力合わせ優勝できた。戸田・宇田川主将の話を聞き、守り、攻撃、決勝戦は緊張したけど、みんな力を合わせたから優勝できた。第3、第4クォーターに追い上げられたけど

毎野フットセンターカップ第14回全日本ドッジボール選手権埼玉大会(県ドッジボール協会主催、埼玉新聞社など後援、毎野フットセンター特別協賛、大塚パレンジャー特別協賛)は、3日、ウイングハット春日でチャンピオンリーグ40チーム、チャレンジリーグ15チームの計55チームが参加して行われた。

チャンピオンリーグでは、予選リーグを勝ち抜いた20チームが決勝トーナメントに進出。決勝戦は月越ストームと岩槻小ファイターズで争われ、岩槻小がセ

勝てたから良かった。関東大会では優勝を目指す。

思い通りの展開  
新郷レッズ・西野孝雄監督の話。決勝は思い通りの展開。ファールでもあった



と野フットセンターカップドッジボール大会



西野監督

また、チャレンジリーグは南北アスレチックスリートが優勝した。

チャンピオンリーグ優勝の岩槻小ファイターズは、8月28日に東京体育館で行われる全国大会に出場する。